



稲門祭
だよ！特別号

ありがとう早稲田 散じて集まる稲門の絆

—稲門祭開催に向けて—

2025 稲門祭 実行委員長 鈴木紳互(一文)



「2025 稲門祭」のテーマは、私自身も元会長として深く関わりを持っている1985年次稲門会(通称メタ穂会、2010年設立)の活動がベースとなって思いついた言葉です。

今年の稲門祭は我々メタ穂会が当番年次です。数年前から、主体的に盛り上げるべく活動してきました。幹事はじめ数多くのメタ穂仲間の皆さまに、稲門祭実行委員会の各本部長・副本部長、運営委員、実行委員等として、惜しみないご協力を頂いており、心より感謝申し上げます。

そもそも稲門祭は、1990年代末に東京23区の有志の諸先輩が大学のホームカミングデーに合わせて大隈庭園でイベントを始めたことがきっかけです。2000年代初めからは校友会の事業として毎年開催されるようになり、年次稲門会が当番制で担当するような仕組みが徐々にできました。今年でちょうど100年となる早大校友会の歴史からみれば、まだまだ新しい事業であり取り組みです。

この一大イベントを、当番幹事年として「明るく、楽しく、元氣よく」全うすることは、今後の稲門祭の運営に大きな足跡を残すこととなりますし、このイベントを通じ85年次がよりいっそう素敵にまとまることができるなら、来年以降担当する後輩年次の皆さまにも、年次稲門会運営のモデルとして示せると考えています。

「2025 稲門祭」は10月19日で終了しますが、年次稲門会の活動も、我々の人生も、まだまだ続きます。稲門祭以降は、『ありがとう早稲田 散じて集まるメタホの絆』ということで、皆さんの総力で明るく楽しいメタホ会を継続していけるよう、頑張りましょう。
(1985年次稲門会 顧問)

※「2025 稲門祭」のメインビジュアルについて、次ページの「ひとこと」もお読みください。

<2025 稲門祭の TOP デザインについて ひとこと>

副幹事長 小野 惣一(理工学部卒)

今年の稲門祭メインビジュアルは、江戸文化浮世絵の流行もあり、絵師にお願いして早稲田を浮世絵風に描いてもらいました。絵師の瀬谷昌男さんは東海道五十三次や日本橋文化なども描いています。

全国に散じたのち、ふたたび大隈講堂に集まる校友の姿を、誰もが写したことがある大隈銅像から見た構図ですが、どうしても背にある大隈講堂も入れ

たいし、富士山も入れたい。それに加えて、現代風に Uni.Shop & Cafe 125(大隈庭園前のキャンパスグッズショップ)も描いてもらいたい。そんな様々な思いの込められた絵になっています。

また、この絵には準備委員会時代からの幹事の顔が何となく分かるように散りばめられています。探してみてください。



メタ穂会イチ推しの記念品は、オリジナルサイン帳『ご朱印帳にも使えます』です。仲間との絆にサインするのも、写真を貼るのにも、御朱印帳としても最適です。大隈重信、大隈講堂や高田馬場の風景を浮世絵風にデザインした限定品。表裏の両面とも TOP デザインを描いた絵師、瀬谷さんの作です。

表の絵は、NHK 大河ドラマ『べらぼう』の蔦屋重三郎に因んで、「もし葛飾北斎が早稲田を描いたら」

をテーマに、大隈重信が志を持って佐賀から早稲田を目指し神奈川沖の浪裏を船で渡るシーン。

裏は、「歌川広重が高田馬場を見たら」をテーマに、大義を成し遂げた大隈侯が、高田馬場を散歩する姿が描かれています。馬場の流鏝馬、右には穴八幡宮が見えます。

制作した版元は 1590 年に徳川家康と共に江戸に上り、扇子と団扇で江戸幕府御用達の版元となった老舗の伊場仙です。

このサイン帳は 2025 稲門祭限定のオリジナルデザインで、買うことができるのは 10 月 19 日まで！ ぜひ、お手許に如何ですか？ 早稲田関係者にプレゼントしても喜ばれます。

ご購入は

稲門祭記念品のウェブサイト

<https://www.waseda-shop.com/plist127/>

早大構内 Uni. Shop & Cafe 125

<https://unishop-cafe125.com/uni-shop125/>

で。



稲門祭とは、早稲田大学校友や、早大で青春を過ごした人、ワセダファンのための、早大校友会最大のイベントです。

例年、創立記念日である10月21日前後の日曜日に本部キャンパス等で催されており、今年（2025年は創立143周年）は**10月19日(日)**に開催されます。

わたしたち1985年次稲門会（メタ穂会）は2025稲門祭の**当番年次**として、イベント全体の運営に携わっています。実行委員長はじめ、企画広報本部長、奨学金記念品本部長、その他さまざまなポジションにおいてメタ穂会のメンバーが重責を担っています。

実行委員会、運営委員会だけでなく、個別のイベントや企画にもメタ穂会は精力的に参加しています。ここでは“本部企画”として催されるイベントの中から、メタ穂会員が企画・実施するものをご紹介します。

ぜひ観に、聴きにおいでください！ご声援よろしくお願いたします！

2025 稲門祭企画広報本部長 辻村義弘(1985年次稲門会会長)

メタ穂会会員が主催する「2025 稲門祭」の本部企画

| 企画案タイトル | 実施時刻 いずれも10月19日(日) | 実施会場 いずれも早稲田キャンパス | 主担当者 |
|---|-----------------------|------------------------------|----------------|
| 大隈講堂統括 散じて集まった稲門祭2025で 「第九・校歌」をみんなで唄おう！！ | 15:10 ~ 16:15 | 大隈講堂 | 辻村義弘 |
| 早稲田の杜に響け！ 校友小口大八の流れをくむ諏訪太鼓&津軽三味線 | 講堂企画内 | 大隈講堂 | 石塚順子 |
| 稲門祭でThe Beatles！ Old Bears in 大隈庭園 | 13:00 ~ 13:40 | 大隈庭園 | 高品直之 |
| 2025稲門祭 早稲田大学・東京大学 ボクシング対抗戦 | 14:30 ~ 16:30 | 演劇博物館前 | 遠藤寛治 |
| 1982年秋 早稲田大学創立100周年時の 野球部優勝を、今、振り返る！ | 13:00 ~ 14:30 | 8号館 B-107教室 | 筆谷敏正 武井宏之 |
| シンポジウム「人気マンガ雑誌・新旧編集長が 大集結！大ヒット作品をめぐる秘話とコンテンツ 産業の今後、海外への挑戦を語り尽くす90分」 | 13:00 ~ 14:30 | 8号館 106教室 | 林田慎一郎 代々木理方 |
| マンガでひもとく日本文化 ベテラン出版マンガが見た日本マンガの進化 | 15:00 ~ 16:00 | 8号館 106教室 | 代々木理方 |
| 酒蔵稲門会主催 ユネスコ無形文化遺産登録記念 「講演&パネルディスカッション ～日本酒から世界酒へ～」 | 12:00 ~ 13:50 | 3号館 601教室 | 中谷聡 |
| フジテレビ問題から考える日本のメディア | 14:00 ~ 15:40 | 3号館 701教室 | 幸田知也 |
| 地域から日本を元気にする！ ～身近な実践例と可能性、推進のキーは稲門の力 | 14:00 ~ 16:00 | 8号館 102教室 | 小寺浩二 宮田昌尚 |
| 稲門市長会ブース (ふるさとお国自慢) 企画展示PR | 9:00 ~ 15:00 | 3号館付近野外テント 3号館CTLT201・202 | 小野惣一 |

酒造稲門会キックオフ企画 in 稲門祭 (入場無料)



元ユネスコ大使と蔵元たちが早稲田の杜に集結！

数年間の休会状態を経て、2025年4月に再生を果たした、早稲田大学卒業生の蔵元を主体とするOBOG組織「酒造稲門会」。この新生・酒造稲門会をお披露目する初イベントを、稲門祭の公式企画として開催いたします。

<第1部>元ユネスコ大使・門司健次郎さんによる講演

門司さんは、「日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録（2024年12月）に多大なる貢献をした人物です。欧州、中東、カナダなど赴任先で展開してきた様々な「日本酒外交」や、日本酒が秘める大きな可能性など、ここでしか聞けない「目からウロコ」の講演をお聞きいただけます。

<第2部>蔵元などによるパネルディスカッション

早稲田ゆかりの蔵元、杜氏、日本酒メディアの編集長、日本酒輸出を手がける経営者など、多士済々なメンバーが集結。酒造りの現場の話など日本酒業界のリアルを、第一線で活躍する皆さんが熱く語り合います。

日本酒大好き！という方はもちろん、日本酒を日頃飲まない方でも楽しめる内容なので、是非お越し下さい！

<イベント概要>

企画名：ユネスコ無形文化遺産登録記念「講演会&パネルディスカッション ～日本酒から世界酒へ～」

日時：2025年10月19日（日）12時～13時50分

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス3号館 6階 601教室

入場料：無料

予約ページ：<https://shuzotomonkai-tomonsai2025.peatix.com/>



予約ページ

※ご予約なしでの聴講も可能ですが、ご予約の方が優先されますので、上記ページよりお申し込み下さい。

2025 稲門祭本部企画シンポジウム



人気マンガ雑誌の 新旧編集長が大集結！

大ヒット作品をめぐる秘話と コンテンツ産業の今後、 海外への挑戦を語り尽くす90分

▶パネリスト(五十音順)



北島輝幸氏 (80 一文)
集英社 元常務取締役
元別冊マーガレット編集長



坪内崇氏 (94 一文)
小学館 第4コミックシーブリープロデューサー
元ビッグコミックスピリッツ編集長



中野博之氏 (00 一文)
集英社 第3編集部部次長、
前週刊少年ジャンプ編集長



野内雅宏氏 (81 法)
集英社 代表取締役社長
元講談社週刊少年マガジン編集長



萩原綾乃氏 (94 一文)
小学館 ちゃお編集長
元 Sho-Comi/ベツコミ編集長



林田慎一郎氏 (85 法)
KPSソリューションズ取締役
元講談社月刊少年マガジン編集長

▶モデレーター、司会

2025.10.19 (Sun.) 13:00~14:30

早稲田大学 早稲田キャンパス

8号館 106 教室

東京メトロ東西線/
東京さくらトラム
早稲田駅から徒歩5分

2025 稲門祭公式ウェブサイト

<https://www.wasedaalumni.jp/fun/tomonsai.html>



～1982年秋 早稲田大学創立100周年時の野球部優勝を、今振り返る！～

日時：2025年10月19日(日)13:00～14:30 会場：8号館 B-107教室

・入場無料・事前申込不要(先着順)・満席の際は入場を制限させていただく場合があります。

1980年代唯一の優勝となった「創立100周年V」を、当時の野球部の選手達と振り返ります！早稲田大学野球部は、今春も明治大学との優勝決定戦を制し、東京六大学最多49回の優勝を誇ります。しかし1980年代は苦しいシーズンが続き、わずか1回のみでの優勝にとどまりました。この1982年秋のシーズンの優勝は、早稲田大学創立100周年の祝賀ムードと相俟って、神がかり的な試合が続き、当時の学生には強い印象を残しました。東京六大学野球連盟結成100周年という記念の年に、当時のメンバーをお招きし、優勝を振り返ります。

<野球部出演者>

安部 嘉弘 あべよしひろ (1983年卒)
(当時4年主将 セカンド 小倉高出身)

厚い人望と熱い気迫のプレーでチームを見事にまとめ上げた名主将。この人の存在無しには歓喜の優勝は語れない。法大一回戦で放った三塁前に深く弾んだ決勝タイムリーは、『フルスイングスクイズ』とも『執念の内野安打』とも称され、まさにこのシーズンのWASEDA野球を象徴するプレーだった。



山岡 靖 やまおか やすし (1983年卒)
(当時4年副将 レフト 早実出身)

4番打者として打線を牽引し、安部主将とは対照的に冷静沈着な副将。優勝決定後、慶大が意地を見せて第三戦にもつれ込んで大乱戦となった三回表に早大打線が大爆発！広岡、山岡、荒木の4年生が放った1イニング3ホーマーは、バース、掛布、岡田の3発を超越する感動の名場面だ。



阿久根 謙司 あくねけんじ (1984年卒)
(当時3年 センター 早実出身)

俊足、強肩、好打、闘魂、頭脳、ルックス…と何拍子も揃い、翌年には主将を務めた。勝てば優勝が決まる早慶一回戦、1点ビハインドで迎えた九回表二死一・二塁という緊迫の場面で代打に起用され、逆転2点中越え二塁打を放ち優勝を決める勝利打点を挙げた。



木暮 洋 こぐれひろし (1984年卒)
(当時3年 ピッチャー 桐生高出身)

5カード全てに第一戦の先発投手を任されたエースサウスポー。ランナーを背負いながらも要所をピシャリと抑え切る気迫の投球は、『コグレ大サーカス』と言われた。打撃も素晴らしく、明大・島岡御大をして「早稲田で一番怖いバッターは木暮だ」と言わしめた。



優勝の立役者のみぞ知る、感動の秘話満載のトークショーをお楽しみに!!

<司会進行> **竹林 宏** たけばやし ひろし (1987年卒)
(NHKグローバルメディアサービス・アナウンサー)

現在、NHKのスポーツ中継で実況を担当。プロ野球中継をはじめ、MLB、高校野球、ラグビー、オリンピックなど、多岐にわたるスポーツの数々の名シーンを実況してきたアナウンサー。豊富な知識と軽快な語り口には定評がある。



司会はスポーツ実況でお馴染みのアナウンサー!

主催：2025稲門祭実行委員会 企画広報本部 協力：稲門倶楽部・早稲田大学野球部

早稲田の秋に集まれ!
稲門祭
2025.10.19 SUN
HONORING DAYMERS

稲門市長会 全国ふるさとお国自慢

10月19日(日) 9~15時

3号館付近野外テント
3号館 CTLT201-202

南は九州、沖縄から北海道まで、
大学では一番多いと言われている市長による稲門の集いを目指しています。
その稲門市長の協力により、
「ご当地グルメやゆるキャラ」「観光、地域産業の紹介」「ふるさと納税返礼品」の
PRの場を設け、来場者にご紹介致します。
稲門の市長が、地元を盛り上げるために努力されております。
散じて集まる全国の稲門の絆を深め、今まで知らなかった観光地、産業やグルメなど
新しい世界を広めて見ませんか？
そんな全国ふるさとお国自慢をイメージしたデザインです。
デザインしたのは早稲田大学理工展の運営スタッフで現役の大学2年生です。
当日は、ゆるきゃらグッズなども配布します。

2024年度 年次総会 報告

1985年次稲門会の2024年度定期総会が、9月21日(土)13時より、東京・早稲田大学の南門前にある「Pizzeria TAKATABOKUSHA」(高田牧舎)で催された。今回も直接顔を合わせてのリアル会合となったのは喜ばしいことであった。

司会進行は三浦正孝副会長。辻村義弘会長、飯田美奈子幹事長がそれぞれ挨拶し、続いて事業報告、中島秀憲幹事による会計報告等が行われ、滞りなく下掲議案がいずれも賛成多数で可決された。

●第1号議案 2024年度事業報告

| | | | |
|------------|----------------|-----------|------------------------|
| 2023/10/ 5 | 幹事会 | 2024/2/16 | 幹事会 |
| 22 | 稲門祭 | 3/23 | 幹事会・花見会(名古屋) |
| 29 | 六大学野球早慶戦応援(秋季) | 4/21 | 早慶レガッタ応援 |
| 11/ 8 | 校友会ゴルフコンパ | 5/17 | 幹事会 |
| 23 | ラグビー早慶戦応援 | 6/ 2 | 六大学野球早慶戦応援(春季) |
| 12/ 2 | メタ穂会ゴルフコンパ | 20 | 幹事会 |
| 3 | ラグビー早明戦応援 | 7/19 | 幹事会 |
| 15 | 忘年会 | 8/23 | 幹事会 |
| 2024/ 1/ 2 | 箱根駅伝応援 | 9/21 | 定期総会 早稲田・TAKATABOKUSHA |
| 27 | 新年会 | | |

●第2号議案 2024年度会計報告

2024年度決算

第14期: 2023年9月1日～2024年8月31日

| 収入 | | 支出 | |
|-----------------|-----------|----------------|-----------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 前年度繰越金(A) | 555,343 | 総会開催補助費充当 | 50,000 |
| 総会開催補助費 | 50,000 | イベント開催補助費充当 | 50,000 |
| イベント開催補助費 | 50,000 | 母校支援費充当 | 200,000 |
| 母校支援費 | 200,000 | | |
| | | ※下記支出充当における原資 | |
| | | | |
| 組織強化補助費合計(B) | 300,000 | 校友会組織強化補助費充当内訳 | |
| 総会事業収入 | 235,000 | 総会事業支出 | 269,036 |
| 稲門祭事業収入 | 135,000 | 稲門祭事業支出 | 168,175 |
| | | 幹事会開催会場費 | 2,059 |
| | | | |
| | | | |
| 事業収入合計(C) | 370,000 | 事業支出合計(D) | 439,270 |
| 預金利息 | 45 | 稲門祭広告費用 | 25,000 |
| | | 代表商議員会費 | 30,000 |
| | | 早稲田大学応援基金寄付 | 50,000 |
| | | HP年間管理費用 | 132,000 |
| | | 他雑費(振込手数料等) | 2,470 |
| | | | |
| | | 事業外支出計(E) | 239,470 |
| 事業外収入計 | 45 | 次年度繰越金(F) | 546,648 |
| 合計(A+B+C+事業外収入) | 1,225,388 | 合計(D+E+F) | 1,225,388 |

● 第3号議案 2025年度事業計画

| | | | |
|------------|----------------|------------|----------------|
| 2024/10/20 | 稲門祭 | 2025/ 2/27 | 幹事会 |
| 11/ 6 | 校友会ゴルフコンペ | 3/22 | 幹事会&花見会(東京・金町) |
| 10 | 六大学野球早慶戦応援(秋季) | 4/20 | 早慶レガッタ応援 |
| 23 | ラグビー早慶戦応援 | 5/29 | 幹事会 |
| 28 | 幹事会 | 6/ 1 | 六大学野球早慶戦応援(春季) |
| 12/ 1 | ラグビー早明戦応援 | 26 | 幹事会 |
| 13 | 忘年会 | 7/31 | 幹事会 |
| 2025/ 1/ 2 | 箱根駅伝応援 | 8/21 | 幹事会 |
| 25 | 新年会 | 9/27 | 定期総会 |

● 第4号議案 2025年度予算計画

2025年度予算

第15期: 2024年9月1日～2025年8月31日

| 収入 | | 支出 | |
|-----------------|-----------|-----------------------|-----------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 前年度繰越金(A) | 546,648 | 総会開催補助費充当 | 50,000 |
| 総会開催補助費 | 50,000 | イベント開催補助費充当 | 50,000 |
| イベント開催補助費 | 50,000 | 母校支援費充当 | 200,000 |
| 母校支援費 | 200,000 | | |
| | | ※上記金額が、下記支出の充当原資となります | |
| 組織強化補助費合計(B) | 300,000 | 校友会組織強化補助費充当内訳 | 300,000 |
| 総会事業収入 | 200,000 | 総会事業支出 | 250,000 |
| 稲門祭事業収入 | 150,000 | 稲門祭事業支出 | 180,000 |
| | | 稲門祭「当番年次」準備関連支出 | 100,000 |
| | | | |
| | | | |
| 事業収入合計(C) | 350,000 | 事業支出合計(D) | 530,000 |
| 預金利息 | 40 | 校友会協力寄付 | 50,000 |
| グッズ・焼酎ラベル売上 | 50,000 | 早稲田グッズ等仕入 | 30,000 |
| | | 代表商議員会費 | 30,000 |
| | | 稲門祭広告費用 | 25,000 |
| | | HP管理費用 | 120,000 |
| | | 他雑費(振込手数料等) | 3,000 |
| | | | |
| | | 事業外支出計(E) | 258,000 |
| 事業外収入計 | 50,040 | 次年度繰越金(F) | 458,688 |
| 合計(A+B+C+事業外収入) | 1,246,688 | 合計(D+E+F) | 1,246,688 |

2025年の第16回定期総会は

9月27日(土) 11:30 より

オンラインでの開催です(懇親会はありません)

最終ページのご案内をご覧ください

1985年次稲門会 第16回定期総会のお知らせ

1985年次稲門会（メタ穂会）会員の皆さま、いかがお過ごしですか。

本年度の第16回総会は、2025年9月27日（土）11時30分より、オンラインで行います。総会のみ（事業報告、会計報告等）とし、懇親会は開催いたしません。顔と顔を合わせての親睦を楽しみにされていた方々には誠に申し訳ありませんが、どうぞご寛恕ください。

われわれ1985年次稲門会は、今年の稲門祭（10月19日開催）の当番年次です。その企画や準備、運営に全力疾走させていただきます。

今回は会場で皆さまに直接お会いすることは適いませんが、オンラインなら、全世界に散じている皆さま方とお会いすることができます。

万障お繰り合わせになって、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

当会は常時活動しております。ホームページからいろいろな行事予定がご確認できますので、ご都合のよい時に、お気軽にご参加いただければ幸いです。

1985年次稲門会オフィシャルウェブサイト <https://waseda1985.com/>

<日時> **9月27日（土） 11:30～12:00（予定）**

11:15 ZOOM受付開始

11:30 開会

<参加方法> **ZOOMでのオンライン開催**

下記アドレス宛に、メールで①～④の項目をご連絡ください。

開催1週間前までに、ZOOMミーティングIDとパスコードをお送りします。

出席されない場合もご連絡いただけましたら幸いです。

✉ white375@live.jp 幹事長・飯田美奈子あて

① 卒業学部 ② お名前 ③ 出席or欠席or未定 ④ メッセージ

参加費は無料です。

<お問い合わせ> 最新情報は、当会ウェブサイトでご確認ください。

<https://waseda1985.com/> 1985年次稲門会

Facebookグループもあります。「メタ穂会（W85）」で検索してください。

ご参加をお待ちしております。

1985年次稲門会会長 辻村義弘

y-mataro-t@moegi.waseda.jp